



こどもの目線で 描きたい! 優しさをDNAに 刻むために

連載 ゆめ・まち・みらい
インタビュー

ウマカケバ クミコさん
(イラストレーター)



阪急阪神ホールディングスグループ

おすすめ
記事

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」助成対象団体
「プール・ボランティア」をご紹介します(3~5ページ)

おすすめ
イベント

『earth』映画上映会
(8月25日(水)・31日(火))

社会貢献用語辞典
未来をつくる
コトバ
vol.06

NPO

[Non Profit Organization]

収益を目的とせず、さまざまな社会貢献活動を行う団体。なかでも特定非営利活動促進法に基づいて、福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力など、社会的ニーズの高い特定の分野において活動する「特定非営利活動法人」をNPOと呼ぶ場合が多いようです。社会的な課題への取り組み主体として、行政や企業などだけでなく、市民も大きな役割を果たそうとしています。「阪急阪神未来のゆめ・まち基金」は、このような市民団体を応援。皆さまも募金などでぜひご協力下さい。



What'sフェアトレード?

途上国の生産者が貧困から抜け出せるよう、公正な価格で取引した商品がフェアトレード商品です。途上国の自立や環境保全につながる国際協力のひとつです。

ゆめ・まち・みらい ショッピング

六甲ガーデンテラス「ホルティ」より
おすすめのフェアトレード商品をご紹介します



たっぷり入った果肉と自然な甘さがたまらないジャム

「メル・ハーブ」は、オーガニック・ハーブを届けてくれる農園&お茶・ジャム工場。ケニアの首都ナイロビからでこぼこ道を車で約5時間、緑豊かな風景が広がるメル地方で活動しています。近くの川から引いた灌漑システムを中心とした農園と工場からなり、工場で働く約8割が女性です。メル・ハーブの灌漑システムは電気や機械を使わず、土地の高低差と水圧だけで動くエコロジカルなもの。灌漑システムを利用している430軒の農家のうち、166軒が日本やイギリスの有機認証を取得済み、30軒が移行期間中*です。「メル・ハーブ」の手作りジャムは3種類。たっぷりの果肉と自然な甘さがたまりません。

*有機認証の取得には、慣行農法から有機農法に変更した時点から3年間の移行期間が必要です。

「フェアトレード・ジャム」
(マンゴ、ハイビスカス&パパイア、パパイア&レモン) 内容量:200g
630円(税込)



photo: Miki Alcalde for People Tree

「ホルティ」 HP <http://horti.rokkosan.com/> メール horti@rokkosan.com
専用注文書でFAXまたはメールから、もしくはお電話でご注文下さい(お申込電話・FAX ☎0120-894-886)

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

阪急阪神ホールディングス株式会社 人事総務部社会貢献担当
shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174
ホームページ <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>



かたい話もやわらかく
イラストで伝えたいこと

幼い頃から白い紙を見つけては、絵を描いていました。専門学校を卒業後はデザイナー事務所でグラフィックデザイナーとして働いていましたが、絵が描けるので重宝されて、少しずつイラストの仕事が増えていったんです。もともと「絵の仕事」に対する憧れもあって、自分のイラストが採用されるのは嬉しかったですよ。独立してからさらにイラストの仕事が増え、いつの間にかイラストレーターになっていました。

阪急さんとは以前もマナーポスター

子どもの目線で描きたい！
優しさをDNAに刻むために

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」のシンボルマークでおなじみのイラストレーター、ウマカケバクミコさん。その絵に込められた、子ども達への思いを伺いました。

お仕事で一緒したことがあります。昨年「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」のシンボルマーク制作のお話をいただいた時、特に子ども達を育てる「人づくり」というコンセプトに共感したんです。社会貢献というところ、堅苦しいイメージがありますが、絵が描けるので重宝されて、少しずつイラストの仕事が増えていったんです。もともと「絵の仕事」に対する憧れもあって、自分のイラストが採用されるのは嬉しかったですよ。独立してからさらにイラストの仕事が増え、いつの間にかイラストレーターになっていました。

緑をまとった電車や駅…
子ども達に見て欲しい

昨年、阪急電鉄「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」のラッピングデザインも担当させていただきました。私のイラストを乗せて電車が走るなんて、本当に感激！イラストレーター冥利に尽きると思っております。デザインにあたって、ふと思いついたのが、能勢から梅田まで乗車した時のこと。周辺は緑がいっぱいで、電車の中まで気持ちのいい空気に満ちていたのを覚えています。電車が緑をまとったまま、この空気を都会へ連れていく。そんな感動を思い出しながら、おとぎの世界みたいなイメージを車両に表現してみたいと思いました。電車のボディにラッピングされたイラストが、

イラストレーター
Umakakeba Kumiko

ウマカケバクミコさん

Profile

大阪生まれ。大阪美術専門学校卒業後、グラフィックデザイナーを経て、1995年よりイラストレーターに。キャラクターデザイン、広告、出版を中心に活動。「ウマカケバ ウマクイク展」をはじめ、展覧会も多数開催。2009年に東京に拠点を移し、さらに広いフィールドで活躍している。



子ども達の目線とほぼ同じ高さなのもいいですよ。今年はずっとエコな阪急摂津市駅の開業に合わせて、イメージイラストも描かせていただきましたが、駅のホームの絵も子ども達の目の高さ。ダイレクトに目に飛び込んでくる絵が、子ども達のDNAに刻まれて、いつか「社会に役立ちたい」とか、「絵を描く人になりたい」と思ってくれたらいいな。私のイラストには、そんな役目がある気がします。

「ママ会」というイベントで、ワークショップを担当させていただきました。何しろ初めての経験で、何をすればいいかわかりませんが、床に模造紙を広げて、子ども達に大きな絵を描いてもらおうとしました。3歳くらいの小さなお子さんの参加が多かったのですが、うろたえたり、騒いだりする子もなく、みんな絵に集中してくれました。絵のヒントになればと私がドーナツの絵を渡したら、いきなり4等分した子がいたんです。「これはお父さんの分、これはお母さんの分」と言いがら。子どもの発想はすごい！たしかに、子どもの目線で絵を描くと斬新なアイデアが生まれるし、イメージが広がります。幼い子ども達から得るものは多いですね。子ども達にとっても、絵の楽しさになれる良い機会になったのではないのでしょうか。というか、そうであって欲しいですね。これを機会に、今後も子ども達に描く楽しさを伝えていきたいと思えます。

か、子ども達を守るとか、身近な大人が実践してみせれば、子ども達に大人や社会に感謝する気持ち生まれるでしょう。そうすれば、子どもが大人になった時、次の子ども達にも同じことをしてくれるはずですよ。それが、つながることかな、と。私のイラストが少しでもお役に立てば、これほど嬉しいことはありません。

子ども達との関わりとえば、ある情報誌と西宮阪急百貨店がコラボした

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」は、大切な自然や思いやりの気持ちを次世代につないでいく活動だと私は理解しています。自然を守ると

CO₂排出量ゼロをめざした日本初のカーボン・ニュートラル・ステーション、阪急摂津市駅にも可愛いイラストが！



ウマカケバさんのイラストがラッピングされた、阪急電鉄「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」とヘッドマーク。



左:甘い生活。右:やさしいなつ。短い言葉が添えられたイラストは、一画面でストーリーが完結している

作品のご紹介

ただいま充電中。今後は東京で展覧会も!

ウマカケバクミコさんは1998年から2009年まで、大阪で2年間、芦屋で10年間、ギャラリーを会場に「ウマカケバ ウマクイク展」を毎年開催されてきました。今年は充電期間とのことですが、これからは東京でも展覧会を開催したいと考えているそうです。ここでご紹介するのは、展覧会のポストカードに使われたイラストの一部。ウマカケバさんが子どもの目線で描いた絵です。

ウマカケバクミコさんの作品やブログをご覧になりたい方は公式ホームページにアクセスして下さい。
ホームページ <http://umakakeba.net/>

「プール・ボランティア」は、障がい児や高齢者を対象に、公営プールでボランティアによる水泳指導を行っているNPO法人。ある日の活動(扇町プール/大阪市)を見学しながら、目的や成果などについて伺いました。



水の中にいると自然に笑顔になっちゃう！フシギだね

誰もがいつしよにプールを楽しめる社会をめざして。

リハビリテーションにも使われる水泳や水中での運動は、障がい児や高齢者に対しても、心身に良い影響を与えられています。「プール・ボランティア」は、そのことを「一番よく知っている織田さん達、水の専門家が集まって1999年5月に設立されました。設立当時、障がい者は一般市民が使用する公営プールではなく、障がい者用施設を利用するしかありませんでした。それは、「スロープや手すりなどの設備がない」「一般利用者の理解が得られない」という理由からでした。ところが、障がい者用施設は老朽化していたり、駅から離れていたりと、決して条件は良くありません。心身に良いことがわかっていくのに、多くのバリアが邪魔をする。「障がい児や高齢者も、健常者と同じプールで水泳が楽しめる社会にしたい」との熱い思いで、ノーマライゼーションの実現をめざした活動が始まりました。



プール・ボランティア 副理事長 織田 智子さん

高校時代の水泳部の時は楽しいと思えませんが、今は泳ぐことがすごく楽しいですね。こども達の笑顔がパワーの源です。

体も心も気持ちいい！ プールで育てるノーマライゼーション

ノーマライゼーション：障がい者も健常者も、同じように生活できる社会が正常であるとする考え方。



step5
 時間が経つにつれて笑顔に！プールでの様子は、申し送りノートに書いて保護者に伝えます。



step4
 途中で一度休憩を入れ、約90分間、マンツーマンでレベルに応じた水泳指導を行います。



step3
 いよいよ入水。これがたいへん。ゴーグルが着けられない子もいるそうです。徐々に水に慣れていきます。



step2
 シャワーの後、ボランティアと一緒に準備体操。お母さん達保護者は、観覧席に移動して見学です。



step1
 入場受付後、保護者が着替えを担当。更衣室の前でボランティアにバトンタッチします。



最初は水嫌いでもこの通り！



ビーチで水遊びを楽しむこともあるよ！



マンツーマンで水泳指導。利用者は年間4千人超。

「プール・ボランティア」は現在、利便性と設備で厳選した、近畿エリア22カ所のプールで活動しています。水泳指導を行うボランティアは19歳〜77歳の約160名。年間延べ4千人を超える会員のなかには、知的障がい、半身や全身まひなどのこども達も多くいます。それぞれ異なる障がいや個性に応じるため、指導は完全マンツーマン。障がいの程度によっては、1名の会員を2名以上のボランティアが担当します。こども達が泳いでいる間、保護者は観覧席で見学。「保護者には、この時間だけでも、お子さんと離れてゆっくり過ごしていただきたいですから」と、副理事長の織田さんは語ります。

水の中では満面の笑顔になれる！

水泳といっても、こども達にとっては水遊び感覚。ボランティアは、こどものペースと体調を優先します。ふだんは表情の乏しい障がい児たちも、水に入っただけで遊んでいると、保護者にも見せたことのないような満面の笑顔に。他人とふれあうことで、コミュニケーション能力も育まれます。また安全を最優先し、水中まで運べる車イスや、体が冷えないびつたリサイズのスィムウェアなども、大手メーカーと共同開発。介助側の都合ではなく、障がい者の立場で考えたものは画期的だそう。

保護者の心からの「ありがとう！」

11年間にわたる活動で、プールを運営する側の意識は変わってきました。設備が不十分なプールはまだ多いものの、活動には協力的だと言います。奇異な目で見る一般のプール利用者も少なくなりました。

障がい児達も確実に成長しています。取材の日、観覧席でお母さん達にお話を伺いました。「一般のスイミングスクールになじめなかった海くん、大の水ぎらいだった颯佑くんは、ともに小学2年生。3〜4年の経験ですっかり泳ぎが上達し、今では足のつかないプールで、自由自在に水と戯れています。」「泳ぐのが楽しくなって、プールの日を心待ちにしています。ボランティアの方とお話もできるようになりました」と、お母さん達は口を揃えます。中学1年生の俊希くんのお母さんは、「自分に自信がついたみたいです。一人で眠れるようにもなりました」と、生活面での変化を喜んでおられました。

「スイミングクラブに断られて途方にふていた時、急ぎよ受け入れてくださって助かりました」と語るのは、高校行事のトライアスロンを控えていた誠くんのお母さん。初日は着替えを拒み続けましたが、ボランティアの根気強い語りかけに、ようやく気持ちがあぐれて入水。翌日から徐々に心を許し、泳ぐ距離も伸びていきました。「3キロの遠泳を義務づけられて必死だったんです。あのままでは、私がどうにかなっていました。本当に感謝しています」。プールではこども達、観覧席では保護者達がそれぞれ笑顔になっていました。

阪急阪神グループ 社会貢献報告 Series 01



職場体験学習受け入れ 「一緒に働いて学ぼう！」 [株式会社あしすと阪急]



実習風景。マンツーマンで仕事の基礎を指導し、見守ります。

「障がいを持つこども達に、仕事を体験してもらっています」

お話を伺った方…あしすと阪急 福田さん

阪急阪神グループの社会貢献活動には、知っているようで知らないものも…。そこで事務局が各社のご担当者をインタビュー。現場の生の声をお伝えします。

■「そもそも「あしすと阪急」はどういった会社でしょうか？」
福田 障がい者の雇用促進を目的として、2005年に設立された特例子会社です。オフィスビルの清掃業務や印刷、郵便物取次業務などを行っています。大半が知的障がい者ですが、発達障がいや身体障がいなど、多様な障がいを持つ方々が就労しています。

■「知的障がい者の方が多いのはなぜですか？」
福田 身体障がい者の企業就労は50年前に始まりましたが、知的障がい者の企業就労はまだ日が浅く、仕事の場も少ないのが実状です。しかし近年、障がいを持つ方々も一般企業に勤め、地域社会の中で暮らすよう国がすすめてきており、特別支援学校(旧養護学校)卒業後や福祉作業所に通所中の知的障がい者が就職を希望する方が増えています。少しでも、そのような方々の力になればと。

■「なるほど。職場体験学習の受け入れが始まったのはいつですか？」
福田 2005年の設立初年度から、雇用に向けて施設からの実習生を受け入れてほしいという各方面からの声にはできるだけ機会を作ってお応えしてきました。さらに、一昨年から特別支援学校高等部3年生を数名、6月や8月に受け入れ、清掃業務などを体験してもらっています。

■「生徒さんを受け入れる上でのご苦労は？」
福田 一番気を使うのは生徒さんの体調管理ですね。朝早くから体力や神経を使う清掃業務を毎日続けるのは容易なことではなく、緊張している生徒さんには尚更だと思えます。他にも、学校側とのスケジュール調整など大変な部分はあります。ただ、指導役の先輩従業員が実にいきいきと後輩を受け入れ、他の人を教えるという経験が、彼らにとってもよい勉強になって、グッと成長してきましたので、苦勞の甲斐があります。ゆくゆくは体制を整え、特別支援学校(学級中等部)の生徒さん達も受け入れることができたいですね。

障がい者の立場で企業と共同開発したスイミング用品



シャワーチェアをベースに多彩な工夫を加えた車イス



着脱しやすく体にフィットするスイムウェア



締めつけず水中で脱げにくいスイムキャップ

阪急阪神グループの社員も活動中!
嵯峨さんの「プール・ボランティア」の活動レポートを7ページにご紹介!

ボランティアの方々



定年退職前から始めた狩野さん



ボランティア歴9年の菅原さん



こども達に大人気の平田さん



阪急阪神ビジネスアソシエイトの嵯峨さん

「プール・ボランティア」に参加したい人はこちら

「プール・ボランティア」では、水泳のできる方、泳ぐことが好きな方を募集しています。ボランティアやスイミングインストラクターなどの経験は不問です。活動日は、週1回でも月1回でもかまいません。泳ぎが苦手という方は、心当たりのお知り合いにぜひお声掛け下さい。まずは事務局へご連絡を!

特定非営利活動法人プール・ボランティア
事務局 〒540-0034
大阪市中央区島町2-4-3-902
TEL 06-4794-8299 FAX 06-4794-8298
ホームページ <http://www.pool-npo.or.jp>

ボランティア活動を応援したい人はこちら

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」は、「環境づくり」「人づくり」に取り組む、このような市民団体に助成しています。基金に参加することで、団体の活動を資金面でバックアップすることができます。参加方法など、詳しくは本誌【10ページ】をご覧ください。

まだまだ足りない 泳げるボランティア。

ボランティアの声で多いのは、「こども達と泳ぐのが楽しい」というもの。ゴーグルが着けられるようになった時、こども達の笑顔を見た時、泳げるようになった時など、一つひとつの成長に目を細めます。「ボランティアを通じて、こども達からプールの楽しさを教えてもらった」「保護者から「ありがとう」ございました」と言われるのが嬉しい。「こどもの笑顔が一番のやりがい」と語る人も。

課題はボランティアが足りないこと。水泳指導を希望する人は非常に多く、利用待機者が後を絶ちません。「ゆめ・まち基金からの助成をきっかけに、活動を広く知っていただければ嬉しいです。神戸や京都方面の方も参加して下さい」と織田さん。資格は「泳げること」だけで大丈夫です。

活動レポート



阪急阪神ビジネスアンソニエイト 嵯峨良嗣さん

ハンデのある子ども達に水泳指導。 楽しいから続けられるんです！

水泳を始めたのは、社会人になってからです。そもそもはトライアスロン参加をめざし、スイミングスクールに通ったのがきっかけ。結局トリアスロンには二度も参加しませんでした。水泳の楽しさに目覚め、知人から聞いた「プール・ボランティア」に興味を持ちようになりました。「プール・ボランティア」は、マンツーマンで障がい児や高齢者に水泳指導をしているNPO法人です。当初は、

子どもは本当に正直で、顔の表情や声のトーンだけでなく、体中で楽しさを表現してくれます。そんな彼らを見てみると、私も楽しくなっています。子どもが成長する姿に出会えるのも楽しみです。最初は怖くて顔を水につけることさえできなかった子が、クロールで25mを泳げるようになり、とても嬉しかったです。

活動を同じくする、ボランティアとの交流も楽しみのひとつです。水泳部の学生、スイミングスクールのコーチ、保育士、看護師、教員、定年退職された方など、年齢も職業もさまざま。子どものあやし方や叱り方、介助の方法なども、そんなプロの方々から教わりました。また事務局の紹介で、日本赤十字社の救急法の講習も

受講し、万一の場合に備えた対応なども学ぶことができました。振り返ってみると、土日を利用してこの活動もすでに5年、なんと300回以上も子どもと入水しています。ここまで続けることができた一番の理由は、「活動自体が楽しい！」ということ。もし、今までと違う何かを始めた다고考えているなら、ボランティア活動はいかがでしょう？必ず、自分に合った活動が見つかると思いますよ。

「NPO法人プール・ボランティア」は、「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の助成対象団体です。本誌【3～5ページ】に特集記事を掲載していますので、ぜひご一読下さい。ボランティアも随時募集中です。事務局まで気軽にご連絡を！



神戸市六甲アイランドにあるデカバスにて。ふだんのプールとは違う、開放的な環境で泳ぐ年1回のイベントです。

プール・ボランティアに興味を持たれた方へ

事務局 TEL 06-4794-8299 FAX 06-4794-8298
ホームページ <http://www.pool-npo.or.jp>

活動レポート



グローバルテック 増羽俊彦さん

最後まであきらめない気持ちで サッカーが教えてくれます。

一昨年の12月。地域の少年サッカークラブで、次女が所属する当時小学2年生チームのコーチを募っていることを知りました。私は、大阪府社会人リーグに所属する阪急電鉄サッカー部のOB。その後は西宮シニアリーグに所属するチームへ移り、今も現役でプレーしています。30年以上の経験があり、保護者の一人でもあるので、コーチを引き受けたのも自然の成り行きでした。それからは自分自身がプレーするより、少年サッカーの練習や試合に休日を費やすことが増えましたね。

一昨年の12月。地域の少年サッカークラブで、次女が所属する当時小学2年生チームのコーチを募っていることを知りました。私は、大阪府社会人リーグに所属する阪急電鉄サッカー部のOB。その後は西宮シニアリーグに所属するチームへ移り、今も現役でプレーしています。30年以上の経験があり、保護者の一人でもあるので、コーチを引き受けたのも自然の成り行きでした。それからは自分自身がプレーするより、少年サッカーの練習や試合に休日を費やすことが増えましたね。

うちのチーム「篠原サッカークラブJr」は、全員で約60名。4年生チームには女子4名を含む21名がおり、コーチは4名ついて

います。小学生のサッカーは、8人制で15分ハーフ（公式戦は20分）。ふだんは近くのクラブチームとの交流試合が多いですが、年に1度、福井県で開催される敦賀市長杯気比の松原招待サッカー大会に遠征します。昨年の決勝戦では、キックオフもなく2点を先取され、後半に追いついてドローで終了。PK合戦にもつれこみました。ところが、なかなかお互いシュートが決まりません。8人目ようやくサドンデスを征して、辛くもうちのチームが優勝しました。雷雨で中断するなど、大荒れの試合でしたが、勝った瞬間は気持ちも晴れ晴れ。子ども達だけでなく、保護者にとっても忘れられない感動的な試合になりました。

た。今も負けそうになった時は、「敦賀を思い出せ！」とはっぱをかけ、あきらめない気持ちを奮い立たせています。「篠原サッカークラブJr」は市などの補助を受けていないので、活動資金は保護者が負担。試合相手を探したり、当日の設営をしたり、カップや賞品などを用意するのも保護者です。私は家族とともに滋賀県に転居してきたのですが、サッカーのおかげで地域に溶け込めた気がします。私は男の子に接するのが初めてだったので、言うことを聞かない彼らに最初はとまどいも行かず毎週練習にやってくる、まじめな少年ばかり。大好きなサッカーという競技を通じて、



滋賀県野洲市で活動している「篠原サッカークラブJr」のメンバーです。この日、交流試合で優勝。表彰式の後に、全員で記念写真を撮りました。

次第にコミュニケーションもムズにとれるようになってきました。私自身も辛抱強くなったと思いますが、彼らも最後まであきらめない強さを身につけたと思いますよ。子ども達は日々成長します。2年生の頃は頼りなく見えた子が、4年生の今ではチームを引っ張っている。彼らの成長が何よりの楽しみです。

地球について考えたり、NPOについて考えたり…
夏休みの子ども達と一緒にいかがですか？

基 金のご案内

ご協力ありがとうございました！
阪急阪神 未来のゆめ・まち基金
2009年度収支報告&参加受付中

昨年度から開始した「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」も、運用から1年が過ぎました。前号でご紹介したように、本年3月には皆さまからお預かりした基金からの拠出と、阪急阪神ホールディングスからの上乗せ寄付を合わせて、市民団体への助成を実施いたしました。新たなご参加もお待ちしております！

ゆめ・まち基金2009年度(2009年4月1日～2010年3月31日)の収支報告は以下の通りです。

収入総額 2,261,542円
参加者601名による寄付額

支出総額 1,000,000円
2009年10月末残高を元に2010年3月に支出した団体への助成金
1団体あたり25万円、4団体へ助成
(阪急阪神ホールディングスからも同額の25万円を上乗せし、団体へは50万円を助成)

差引残高 1,261,542円

収支報告は、ゆめ・まちプロジェクトHPの従業員向け申請書ダウンロードページにも掲載しています。

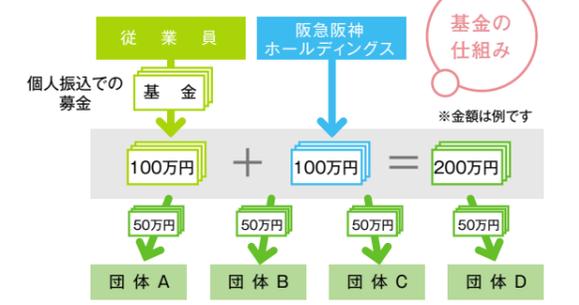
参加受付中!

7月は「阪急阪神 ゆめ・まち基金」給与天引の受付月です。1口89円からできる社会貢献、皆さまのお申し込みをお待ちしております。詳しくはゆめ・まちプロジェクトHPで!

「あなたの寄付がどう活かされるか」がわかります！
第1回助成対象団体による
「ゆめ・まち基金 助成報告会」

まちづくりを応援したいという従業員の気持ちが集まった「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」から、4団体に助成金をお渡しすることができました。今回、この4団体の活動をご紹介する報告会を開催します。基金にご協力いただいた方はもちろん、まだの方もぜひご参加下さい。みんなで「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」への共感の輪を広げませんか。

日 時： 7月20日(火) 18:30～20:00
場 所： 阪急電鉄本社ビル 1Fエコルテホール
定 員： 約50名
参加団体： チーム御前浜・香櫛園浜 里浜づくり
特定非営利活動法人チャイルズ
特定非営利活動法人フードバンク関西
特定非営利活動法人プール・ボランティア
受 付： 事前にプロジェクトホームページ(従業員向けページ)の受付フォーム、もしくはFAX・メールで事務局へ申し込み。所属会社・参加者全員のお名前(ふりがな)・連絡先を明記して下さい。



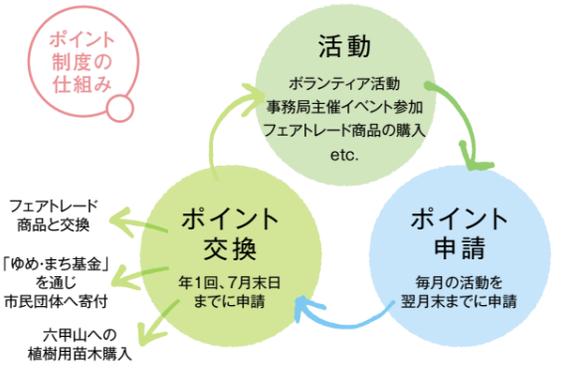
【お問合せは事務局へ】 メール shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL 06-6373-5086 FAX 06-6373-5174
ホームページ http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/

ポ イント制度のご案内

社会貢献ポイント制度 ポイント交換申請受付中!
交換申請期限:7月31日(土) 事務局必着

ボランティア活動、フェアトレード商品の購入、eco検定合格などでポイントを貯めておられる皆さま、残高通知書 兼 交換申請書はもうお手元に届いていますか？ 庶務担当を通じて職場にお届けしています。もし届いていないようでしたら事務局までご連絡下さい。ボランティアで貯めたポイントを、別の形で社会貢献につなげましょう!

- ポイント交換申請
- 申請方法：メール・グループ社内便・郵送などにより、交換申請書を事務局までお送り下さい。
- 交換メニュー：以下の3メニューから選択
A.市民団体への寄付 (阪急阪神 未来のゆめ・まち基金)
B.六甲山に植樹する苗木
C.フェアトレード商品の交換 (残高通知に同封の商品リストより選択)



主 催イベント

主演は46億歳の地球!
地球の素顔を大迫力の映像で鑑賞しませんか?

「earth」映画上映会

さまざまな生命にあふれた地球を、さまざまな角度から映し出すドキュメンタリー映画。まだ見たことのない地球の姿、厳しい大自然に生きる動物の姿…。大迫力の映像で、地球や生命の本当の姿を肌で感じ、私たちがとりまく環境問題に思いを馳せてみませんか?

日時・会場： ①8月25日(水) 18:30～20:00頃
阪急電鉄本社ビル 1Fエコルテホール
②8月31日(火) 18:30～20:00頃
阪神電気鉄道本社ビル 10Fホール
受 付： 当日会場までお越し下さい(申し込み不要)。会場は飲み物の持ち込みOKです。マイボトルご持参どうぞ!
定 員： 各回100名(予約不要)



ゆめ・まち・みらい ライブラリ

LIBRARY グループ従業員の本棚をのぞいてみました。今回は、ちょっぴり不思議な「こびと」の図鑑です。

今回のおすすめ人
阪急電鉄 人事部
朝井敬子さん

「変な趣味～」と言われるのを覚悟で、「妙なモノ」好きの方におすすめ!?

こびと大百科 びっくり観察フィールドガイド なばたとしたか(著) 出版:長崎出版 2008年10月発行 1575円(税込)

タイトルのとおり「こびと」の図鑑で、もちろんフィクション。キモかわいい不思議な魅力のこびと情報が、ユルくもまじめに紹介されています。ピンク色でビョウな表情の「カクレモジリ(表紙写真中央)」や、鍋に入れて煮ると良いダシが出る「ワカイトキダケ」、トイレトペーパーの端をこっそり三角に折ってマナーの向上にいそむ「イエコビト」など、名前もルックスも生態も珍妙なこびとたち…。こどもの頃に夢中になった「コロボックル」を思い出しつつ、娘とともに愛読(?)中です。

編集後記

相良 有希子
育休復帰です! 一年間どっぷり地域に浸かって実感したのが、地域の安全・安心は、人とのつながりから始まること。数多くのボランティアの方にも支えられています。

新美 佳代
もうすぐ夏休み。今の子ども達は、宿題も習いごともないで忙しいのでしょうか?それでも存分に楽しんでほしいなあと思う今日この頃でした。

相良 素子
今回の取材で久しぶりにプールに行きました。皆さんの気持ち良さそうに泳ぐ様子を見ると、水泳が嫌いだった私でも泳ぎたくなりました。

浦井 沙央里
今号から、助成金をお渡しした市民団体の特集です! ゆめ・まち基金にご協力いただいたお金がどんな団体に使われるのか、ぜひご覧下さい。